

# やんばる東村アドベンチャーラリー2026

## ■ファミリークラス優勝チーム コメント



### 『マスターチーター改』

#### 神谷広海さん

もともとは「子どもたちに新しい経験をさせてあげたい、みんなで楽しめたらそれだけで十分」という気持ちで、友人家族も誘って参加しました。正直、優勝なんて全く頭にありませんでした。

ところが、いざスタートしてみると子どもたちの目が輝き始めて。「あのポイント取りに行こう！」「もうちょっとだけ走ったら次のがある！」—体力はとっくに限界近くなのに、気づいたら頭の中はポイントの計算と戦略でいっぱい（笑）。

この大会のすごいところは、頑張れば頑張るほどその成果が目に見えるところだと思います。「あと数百メートル踏ん張ればポイントが取れる」「どのルートが一番効率いいか」—子どもたちと一緒に考え、声を掛け合い、時には支え合いながら、気づいたらチーム全員で「1点でも多く、1秒でも早く」を本気で目指していました。

ゴールした瞬間の子どもたちの顔は、今でも忘れられません。

1週間以上経った今も、「あの時さ～」と話題に出てくるほど、子どもたちの心に深く刻まれた体験になりました。こんなにも「考える力」「諦めない心」「仲間と協力すること」を自然に体験できる大会は、なかなかないと思います。

#### 神谷友翔さん（10歳）

スタート前に皆で作戦を考えただけ、途中で走りながら作戦を考えなおしたりもしました。

優勝するためには1分でも早くゴールしないとと思っていたので、基本は走り続けていて、「休憩」も立ち止まらずに「歩くこと」でした。だから最後の方は本当に足も痛くて、「もう無理！」って叫んだりもしたけど、仲間がリュックをもってくれたり、「がんばろう！」「楽しいことを考えよう！」って言ってくれて、最後まで頑張れました！

ライバルチームも頑張っていたから、最後の最後に名前が呼ばれるまでは「ダメだったかも」と落ち込んでいたので、優勝チームで呼ばれた時には飛び上がってしまいました！

本当に嬉しかったし、がんばって良かったと思いました。

とっても大変だったけれど、やっぱり楽しかったのでまたチャレンジしたいです。

## 遠藤匠馬さん（11歳）

今回は、初めての参加でしたが東村アドベンチャーラリーにて一位という結果を取れてとてもよかったです。

当日は曇りという涼しい天気にも恵まれ、東村の自然と道路の中を駆け抜けながら、ファミリークラスだったので、体力だけでなくチームワークや判断力も試される場面も多く、意外に力だけじゃないんだ、と思いました。

途中、本当に道なのか？という道を歩きながら進みましたが、みんなで走りながらも作戦など話し合いながら一つひとつ CP をクリアしていくことで、最後まで集中力を切らさず走り切ることができました。

また、CP に行くか行かないかの判断も難しかったです。

最終的に、勝負を分けたのはある CP に行ったか、行っていないかという事だと思います。

ライバルだったチームはある CP に行ったのですが、自分のチームは行かずに、全力でゴールに向かいました。

そして、先に戻った理由は二つあり、ゴールの地点にあるクイズで数ポイント稼げる事と、制限時間前にゴールした時、5分毎に1ポイント入るからです。

また、ゴールした瞬間の達成感と、結果発表で自分たちのチームの名前が呼ばれた時の喜びは、忘れられない思い出となりました。

今回の経験を通じて、自然の中で何かに挑戦する楽しさや、仲間や友達と力を合わせることの大切さや楽しさを改めて感じました。

大会を運営して下さった皆さまに心より感謝申し上げます。

次回も一位を目指して東村アドベンチャーラリーに参加したいと思います。

改めて、大会を運営して下さった皆さま一人一人に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## 安藤舜さん（11歳）

ぼくは今回のラリーに参加して、これまでの自分とは少し変わった気がします。今まではその場の思いつきや運にまかせて、自由に進めばいいと思っていました。でも、優勝という目標に向かう中で、それでは勝てないことがわかりました。

一番大切だと思ったのは、事前の準備です。ルールをしっかり読み込むことで、どこで得点がもらえるか、どう動けばいいかの作戦が立てられます。ルールを知ることが、ゲームでいう攻略本を読み込むのと同じくらい重要だと気づきました。

本番では自分のHPを使い分けながら、チームのみんなと声をかけ合いました。一人で突っ走るのではなく、作戦して動くことで、チームワークがどんどん高まり、まるでXPがどんどん貯まっていくような感じがしました。バラバラだった力が一つになって優勝を組み立てられたことが、一番の自信になりました。

ヤンバルの大自然の中を走り切るのは、最高に気持ちよかったです！これからは、運や偶然にたよるだけでなく、自分でしっかり考えて「レベル」を上げていけるような生き方をしていきたいです。

## 上月雄聖さん（9歳）

とにかく楽しかった！！

糸満(普段見る)とは違う「赤土」で、気がついた時には足が痛かったけど夢中でゴールを目指しました。

CP8～11までがキツかったけど、むーにゃんがめっちゃ大変そうだった。

みんなで力を合わせてゴールを目指した事が楽しかった！

スタートからゴールまで、ずーっとたのしかった！！！！

